


Mobility as a Service



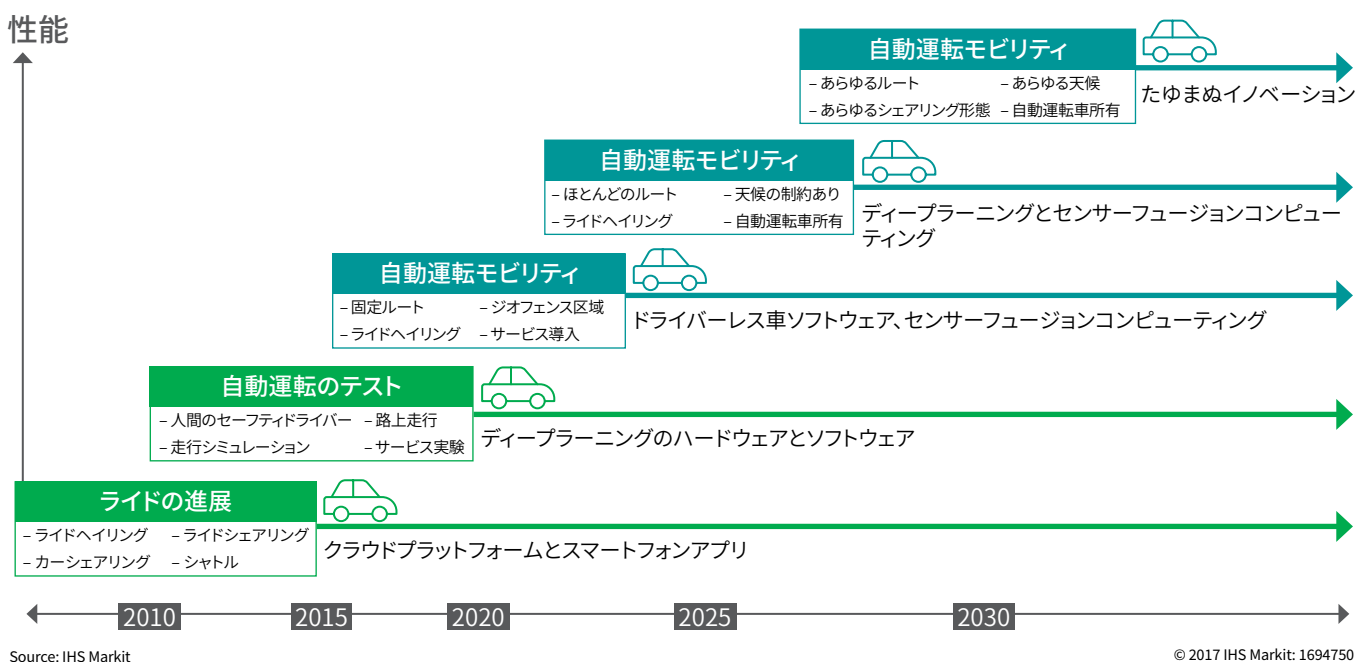
コネクティッド+自動運転+シェアリング+電気：新たな技術が私たちとクルマとのパーソナルな関係を変えようとしています。先行している企業はどこか？規制はパーソナルモビリティの進展にどう影響するのか？IHS MarkitのMobility as a Serviceは、業界の現状を分析し、将来の自動車技術の進化と新たなモビリティサービスの展開を探究するレポートです。

数十年前から存在する自動車のシェアリング利用は、ユビキタスなネットワーク接続の実現によって21世紀にはモビリティサービスと呼ばれるようになりました。かつて高価で不便と考えられていたシェアリングは、スマートフォンやクラウドプラットフォームによってクルマをフレキシブルに利用できる手法となり、サービスとしてのモビリティが確立されようとしています。パーソナルモビリティは自動車、交通、テクノロジーの各産業とともに、その姿を変えようとしているのです。

IHS Markitは新たに浮上してきたモビリティサービス産業を分析します。80ページを超える新レポートは、

- モビリティ分野を定義し、サービスを基盤としたビジネスモデルの進化に影響を及ぼす主要プロバイダーを評価
- 世界のモビリティサービスに影響を及ぼす複雑な規制環境を検証
- モビリティサービスの実現と強化をもたらす主要技術を考察
- モビリティ分野とモビリティプロバイダーの成功要因を分析
- 既存の業界構造に挑むドライバーレス電気自動車を活用したモビリティサービスの現在と将来の使用事例を検証

主要モビリティ技術の進展



Mobility as a Service

モビリティサービスは今後十数年間で性能、コスト削減、運転安全性の点で目覚ましい進化を遂げるでしょう。ネットワークに接続された装置とクラウドプラットフォームはモビリティサービスの進展、関心、利用を促進しており、この革新的変化の成功への鍵は自動運転技術が握っています。自動運転ソフトウェアとハードウェアが登場し、2020年までに路上走行モビリティサービスを変え、パーソナル交通のあり方を再編する大きな可能性を秘めています。

レポートの収録内容：

- エグゼクティブサマリー
- モビリティビジネスモデル
- モビリティ分野
- 業界の活動状況
- モビリティ技術
- 約30カ国の規制状況
- サービスとしてのモビリティの全体像と使用事例
- モビリティ分野とプロバイダーの成功要因
- 展望と将来シナリオ

詳しくはIHS-Automotive-JP@ihsmarkit.comまでメールでお問い合わせください。

お客様窓口

アメリカ地域

T +1 800 447 2273

欧州・中東・アフリカ地域

T +44 1344 328 300

日本

T 03 6262 1727

E IHS-Automotive-JP@ihsmarkit.com

IHS Markitについて

IHS Markit (本社: 英ロンドン, NYSE: INFO) は、世界経済を牽引する基幹産業と市場を対象に、情報、分析、戦略ソリューションを提供している大手調査会社です。顧客の業務効率改善および精度の高い情報に基づく事業決定を支援しています。IHS MarkitはFortune Global 500の80%に相当する企業、主要金融機関、政府機関など50,000社を超える顧客にサービスを提供しており、その持続可能かつ高収益な成長に貢献しています。

ihsmarkit.com/Japan_Automotive